

## 第二次障害者計画

## 第三次障害者計画（案）

## 基本理念

障がいの有無にかかわらず、共に暮らせる、市民協働による自立支援社会づくり

## 施策目標

1. 日常の自立した暮らしを支援するために
2. 日中活動の場の充実と可能性の探求のために
3. 多角的な支援による社会参加促進のために
4. ひとにやさしいバリアフリー社会を実現するために
5. 市民協働による福祉の推進を確かなものにするために

## 施策の方向

1. 日常の自立した暮らしを支援するために
  - ①より決め細やかな相談支援体制の充実
  - ②自立に向けた生活支援サービスの充実
  - ③日常の暮らしの場としての多様な住まいの確保
2. 日中活動の場の充実と可能性の探求のために
  - ①一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
  - ②雇用環境の整備
  - ③自己実現に向けたより豊かな就労への支援
  - ④自立を支える多様な活動の場の充実
3. 多角的な支援による社会参加促進のために
  - ①コミュニケーション等サービスの充実
  - ②社会生活力の向上に向けた社会参加への支援
  - ③保健・医療・リハビリテーションサービスの充実
  - ④スポーツ・芸術文化活動の推進
4. ひとにやさしいバリアフリー社会を実現するために
  - ①バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり
  - ②利用しやすくわかりやすい情報の提供
  - ③相互理解と交流を通じたところのバリアフリー
5. 市民協働による福祉の推進を確かなものにするために
  - ①人権教育・人権啓発と権利擁護の推進
  - ②地域ぐるみで取組む福祉の推進
  - ③福祉人材・ボランティアの養成と確保
  - ④災害等の緊急時における安心・安全の確立

## 【国の動き】

○障害者権利条約（H26 年批准）  
障がい者の**人権や基本的自由の享有**を確保し、障がい者の**固有の尊厳の尊重を促進**するため、障がい者の権利を実現するための措置等を規定

## 【国の動き】

○障害者差別解消法（H25 年制定）  
障害者基本法に規定された「差別の禁止」の基本原則を具体化したもの。**障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資する**ことを目的とする。  
・差別等の権利侵害行為の禁止  
・社会的障壁の除去を怠ることによる権利侵害の防止等

## 【国の動き】

○第3次障害者基本計画（H25～H29）  
障害者基本法に基づき国が策定する障害者施策に関する基本計画  
・基本原則の見直し（①地域社会における**共生等** ②**差別の禁止** ③国際的協調）  
・施策分野の新設（**安全・安心、差別の解消及び権利擁護の推進、行政サービス等における配慮**）

## 【国の動き】

○障害者総合支援法の一部改正（H30 年 4 月施行）  
「生活」と「就労」に関する支援の一層の充実や高齢障がい者に対する介護保険サービスの円滑な利用促進、多様化する障がい児支援のニーズに対応した支援の拡充、サービスの質の確保・向上に向けた環境整備

## 【県障がい者総合支援プラン】（H27 年策定）

策定のポイント「障がい者差別解消・権利擁護」「相談支援体制の充実」「重症者への福祉・医療的支援」「親亡き後の住まいの場の確保」「発達障がい児者への支援の充実」など

## 【アンケートの結果等からみえる課題】

- ・障がい者本人や介助者の高齢化への対応、将来の備え
- ・医療的ケアが必要な障がい児者の受け入れ先の確保
- ・医療と福祉の連携強化
- ・経済的自立を図るための就労の場の確保と就労後の支援体制の構築
- ・就労以外の日中活動の場の確保
- ・障がい者差別の解消、理解促進
- ・社会参加を図るための合理的配慮の提供
- ・災害発生時の避難所運営、役割分担
- ・福祉サービスの見直しと情報提供
- ・ボランティア活動の促進 など

## 第三次計画策定の視点

- 「基本理念」は第二次計画を継承しつつ、国の動きを踏まえた見直しを行う  
→「**個性の尊重**」「**安心して暮らす**」を追加
- 「施策目標」「施策の方向」は、第二次計画を継承しつつ、国の動きやアンケート等の結果を踏まえて再構築する  
→ 一部を変更、新規追加

## 基本理念

障がいの**ある人もない人も互いの個性を尊重し、共に安心して暮らせる**、市民協働による自立支援社会づくり

## 施策目標

1. 日常の自立した暮らしを支援するために
2. 日中活動の場の充実と可能性の探求のために
3. 多角的な支援による社会参加促進のために
4. **互いの個性を尊重したひとにやさしいバリアフリー社会**を実現するために
5. 市民協働による**安心して暮らせるまちづくりを進める**ために

## 施策の方向

1. 日常の自立した暮らしを支援するために
  - ①より決め細やかな相談支援体制の充実
  - ②**地域での**自立に向けた生活支援サービスの充実
  - ③日常の暮らしの場としての多様な住まいの確保
2. 日中活動の場の充実と可能性の探求のために
  - ①**ニーズに応じた障がい児支援の拡充**
  - ②雇用環境の整備
  - ③自己実現に向けた**きめ細やかな**就労への支援
  - ④自立を支える多様な活動の場の充実
3. 多角的な支援による社会参加促進のために
  - ①コミュニケーション等サービスの充実
  - ②社会生活力の向上に向けた社会参加への支援
  - ③保健・医療・**福祉の連携**
  - ④スポーツ・芸術文化活動の推進
4. **互いの個性を尊重したひとにやさしいバリアフリー社会**を実現するために
  - ①バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり
  - ②**合理的配慮と情報提供の充実**
  - ③**障がいを理由とする差別の解消と権利擁護の推進**
  - ④相互理解と交流を通じたところのバリアフリー
5. 市民協働による**安心して暮らせるまちづくりを進める**ために
  - ①災害等の緊急時における安心・安全の確立
  - ②地域ぐるみで取組む福祉の推進
  - ③福祉人材・ボランティアの養成と確保